

「おはなしばる〜ん」を語る

監修：伊勢原市教育部社会教育課



渡部美幸さん



田上治美さん
(おはなしばる〜ん代表)



酒井道子さん



 『おはなしばる〜ん』はどんな活動をしている団体ですか？


田上「絵本やおはなしの読み聞かせボランティアのグループです」

 いつ頃から活動されているのですか？

田上「記録では、1989年の7月からです」

 誕生のきっかけは？

酒井「読み聞かせボランティア希望者が市立図書館に働きかけて、図書館が市の広報で呼びかけたんです」

 ちょうど市立図書館が平成元年（1989年）4月に開館したばかりですね。

酒井「そうなんです。図書館に来た子どもがいつでももおはなしを楽しめる、そんな場所にしたいと、当時はほとんど毎日おはなし会を実施していました」


渡部「図書館が主な活動場所なので、豊富な本が身近にあり、活動に利用できました」





 主な活動場所はどこですか？

田上「市立図書館、市内保育園、幼稚園、小学校や老人ホームです」

 長く活動する秘訣はなんですか？

酒井「毎月の例会や勉強会でお互いの意見を出し合えることとか」

渡部「代表や運営委員を持ち回りにして、会員全員が運営を経験していることも良かったと思います」


田上「そうした、活動の中で大切にしていることを会員同士で共有し、研鑽を積みながら切磋琢磨することができる環境を保つことが大事ですね」

 おはなし会で絵本等を読み聞かせするコツはなんですか？

田上「読み聞かせする絵本は、対象の年齢と人数に応じたものを選びます。おはなし会で読み聞かせに向く本と、家庭でお膝の上などで楽しむ本との違いは意識しています」

渡部「対象が乳幼児の時には、親子で参加できるわらべうたや手遊びを取り入れたりしています」

田上「会員がそれぞれおはなし会で使用したおすすめ絵本等を、勉強会で会員と共有し、記録して、絵本か紙芝居を選ぶ視点なども会員の中で共有しています」

 おはなし会で大事にしていることはありますか？


田上「子どもたちが絵本の世界を楽しむこと、驚き、悲しみ、怒り等の心の動きを、演じ手も一緒に共有することを大切にしています」

酒井「(うなずき) そのために、本の世界観を十分に理解し、絵や文章を味わい、自分のなかで深めてから伝えるような留意しています」


渡部「時には、人形やペープサート(紙人形)などを使い、よりその世界観を広げる工夫もしています」





 いま、会員は何名ですか？


田上「17名です」

 定期的に活動しているのはいつですか？

田上「第2・第4の火～金、午前11時から、場所は市立図書館の2階おはなしのへやです」

酒井「今は、新型コロナウイルス感染予防でお休み中ですが」

田上「開催する時は、市立図書館のホームページや市の広報紙に予定が載ります」

 では、最後におはなしばる～んからのメッセージをお願いします。

田上「コロナが落ち着いたら、また定期的なおはなし会を開催しますので、ぜひ参加しに来ていただきたいです」


渡部「乳幼児、幼児、小学生等、参加者に合わせたプログラムで読み聞かせします」

田上「また、おはなしばる～んは、会員を募集していますので、興味のある方はぜひ一緒にやりましょう」

酒井「子どもや絵本が好きな方なら誰でもできますよ」

田上「皆さんに会えるのを」

田上・酒井・渡部「待ってま～す！！」

 貴重なお話をありがとうございました！

【敬称略】



おはなしばる～んの読み聞かせに興味のある方は
伊勢原市立図書館までご連絡ください。

電話：0463-92-3500

☆活動開始情報は図書館のホームページでご確認ください。

HP：<https://www.lib-isehara.jp/>